

# 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所の概要について

## National Institute of Special Needs Education



(研究所と三浦半島三崎方面 (神奈川県))

# 国立特別支援教育総合研究所

(<http://www.nise.go.jp/nc/>)

# 国立特別支援教育総合研究所の位置



三浦半島



研究所周辺

住所:神奈川県横須賀市野比5-1-1  
電話:046-839-6803(代表)

# 目次

## I 概要

1. 沿革、役員・職員数、財政規模
2. 組織図

## II 活動

1. 研究所のミッション及びビジョン
2. ミッション・ビジョンを踏まえた研究所の活動
  - ①研究活動
  - ②研修事業
  - ③情報収集・発信、理解啓発活動
  - ④インクルーシブ教育システム構築への寄与

# 1. 沿革、役員・職員数、財政規模

## 沿革

昭和46年10月	国の所轄機関として国立特殊教育総合研究所設置
平成13年4月	独立行政法人化（主務大臣：文部科学大臣）
平成19年4月	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所に名称変更
平成20年4月	発達障害教育情報センター設置
平成28年4月～ 令和3年3月	第4期中期目標期間（令和2年度は第4期中期目標期間の5年目）
平成28年4月	インクルーシブ教育システム推進センター設置
平成29年4月	発達障害教育推進センター設置（発達障害教育情報センターの機能拡充）

## 役員・職員数 R2.5.1時点

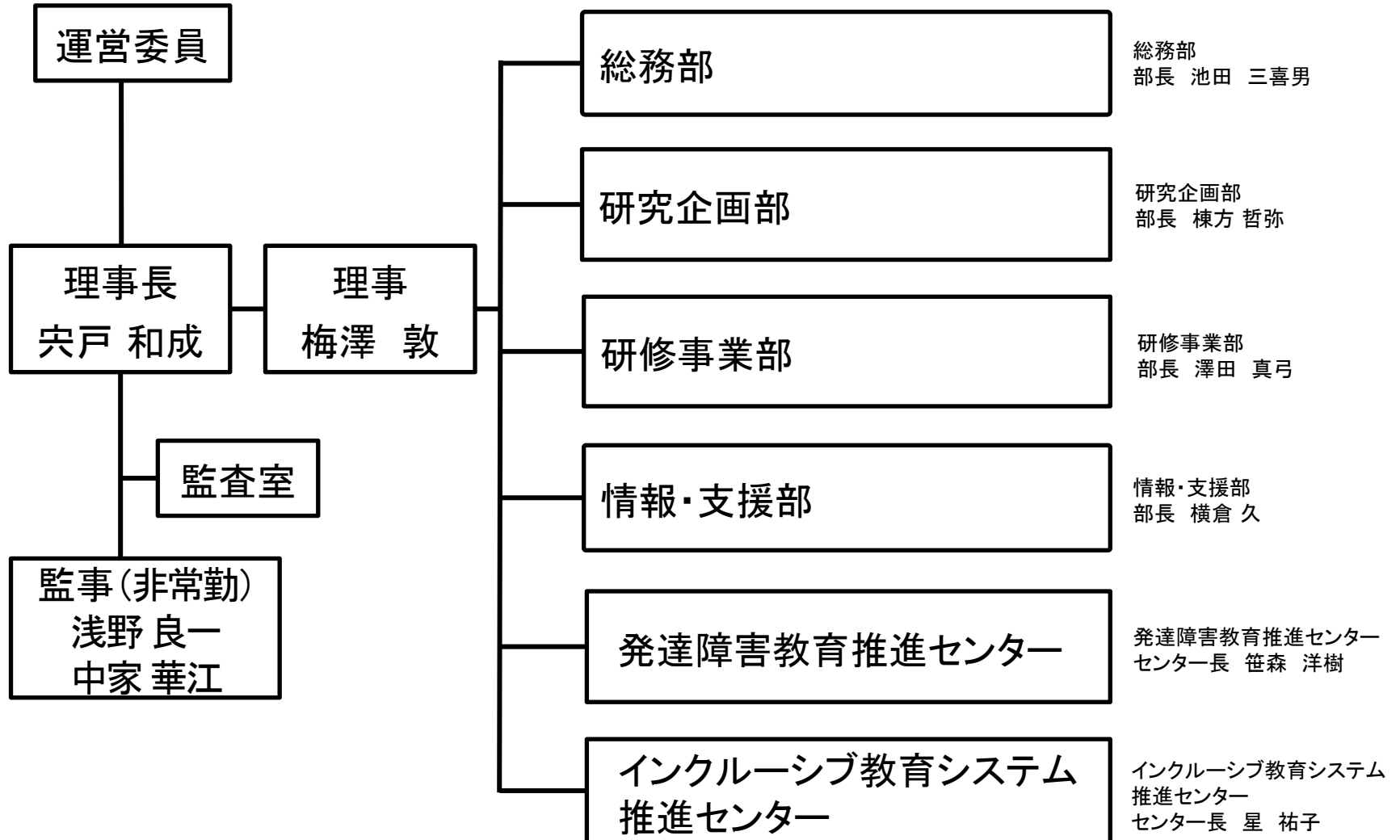
合計	72(2)
役員	2(2)
研究職	40
一般職	30

## 令和2年度の財政規模

区分	金額(千円)
運営費交付金	1,102,796
施設整備費補助金	0

※( )は非常勤で外数

## 2. 組織図



# 1. 研究所のミッション及びビジョン (第4期中期目標<sup>※</sup>から)

## ミッション (使命)

我が国唯一の特別支援教育のナショナルセンターとして、国や地方公共団体等と連携・協力しつつ、特別支援教育を取り巻く国内外の情勢の変化も踏まえた国の政策課題や教育現場の課題に柔軟かつ迅速に対応する業務運営を行い、もって障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育を実現し、インクルーシブ教育システムの構築に向けて貢献することをミッション (使命) とする。

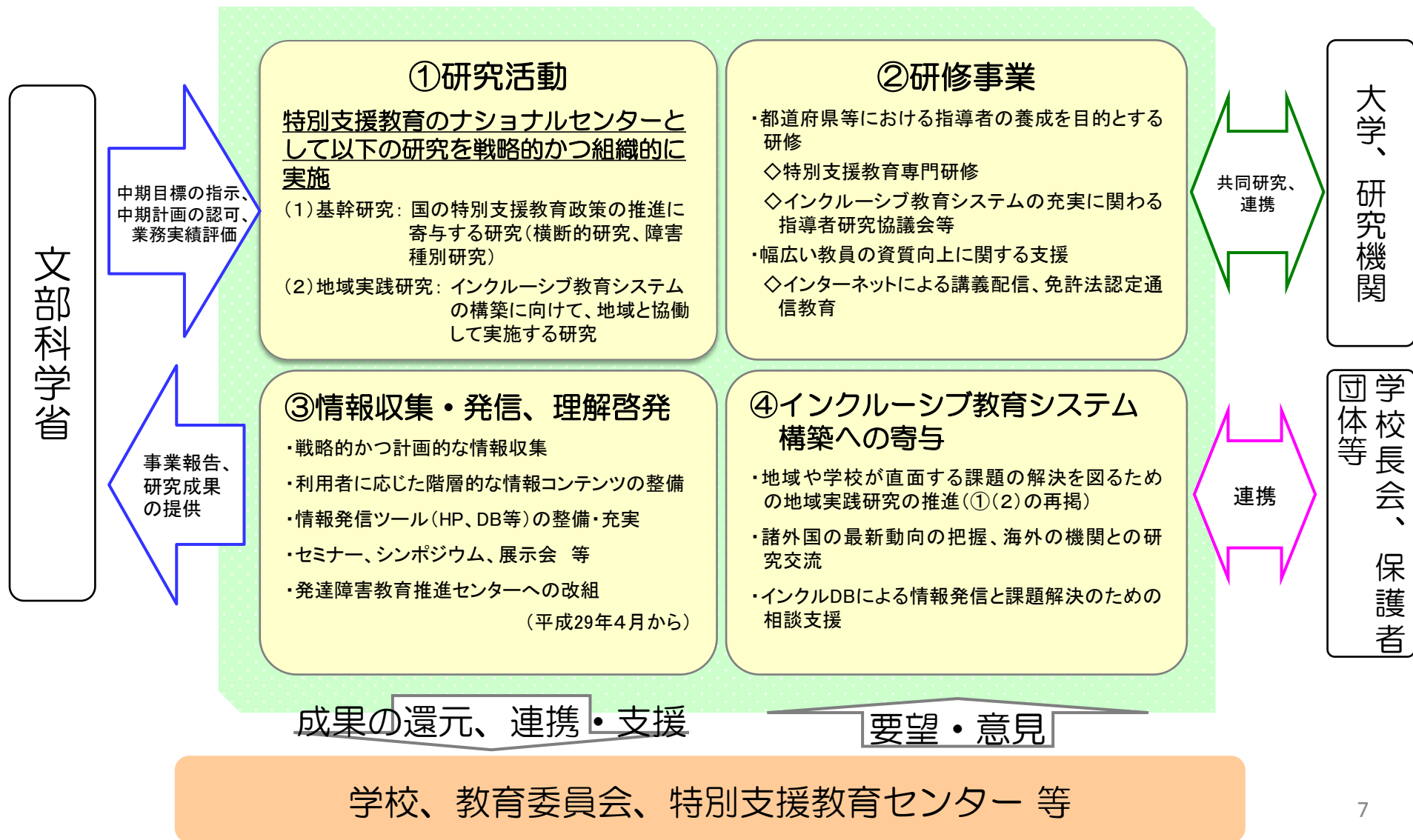
## ミッションを達成するためのビジョン (方向性)

- ① 国の特別支援教育政策立案及び施策の推進等に寄与する研究及びその成果の普及
- ② 各都道府県等における特別支援教育政策や教育実践等の推進に寄与する指導者の育成や資質向上に係る支援等の実施
- ③ 特別支援教育に関する情報収集・情報発信及び関係者の理解の促進、効率的・効果的な情報提供
- ④ インクルーシブ教育システム推進センターの設置による、各都道府県・市町村が直面する課題の解決に寄与する取組等の実施

※第4期中期目標 (平成28年度～令和2年度)

**特別支援教育の振興に寄与**

## 2. ミッション・ビジョンを踏まえた研究所の活動



# ① 研究活動

## 研究体系と研究課題（平成28～令和2年度）

### (1) 基幹研究

#### ○横断的研究

(2課題)

各障害種別を通じて、国の重要な政策課題の推進に寄与する研究(原則5年間)

- ・我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究(平成28～令和2年度)
- ・特別支援教育における教育課程に関する総合的研究(平成28～令和2年度)

#### ○障害種別研究

(11課題)

各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究

(原則2年間)

- 例 ・聴覚障害教育におけるセンター的機能の充実にに関する研究—乳幼児を対象とした地域連携—(平成30～令和2年度)
- ・知的障害特別支援学級担当者サポートキットの開発(令和元～令和2年度)
- ・小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究(令和元～令和2年度)
- ・社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究(令和元～令和2年度)

### (2) 地域実践研究

(10課題)

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、地域や学校が直面する課題の解決のために、地域と協働して実施する研究(原則2年間)

- 例 ・インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究(令和2年度)
- ・交流及び共同学習の充実にに関する研究(令和2年度)
- ・この他に地域実践研究のまとめとなる研究も実施

		平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度
(横断的)	インクルーシブ教育システム構築	我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究				
	教育課程	特別支援教育における教育課程に関する総合的研究				
基幹研究 (障害種別)	視覚障害		視覚障害を伴う重複障害の児童生徒等の指導に関する研究 —特別支援学校(視覚障害)における指導を中心に—			
	聴覚障害			聴覚障害教育におけるセンター的機能の充実にに関する研究 —乳幼児を対象とした地域連携—		
	知的障害	知的障害教育における「育成すべき資質・能力」を踏まえた教育課程編成の在り方—アクティブ・ラーニングを活用した各教科の目標・内容・学習評価の一体化—(H27年度～)			知的障害特別支援学級担当者サポートキットの開発 —授業づくりを中心に—	
	肢体不自由				小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究	
	病弱		精神疾患及び心身症のある児童生徒の教育的支援・配慮に関する研究			
	言語障害	「ことばの教室」がインクルーシブ教育システム構築に果たす役割に関する実際研究 —言語障害教育の専門性の活用— (H27年度～)		言語障害のある中学生への指導・支援の充実にに関する研究		
	自閉症	特別支援学校(知的障害)に在籍する自閉症のある幼児児童生徒の実態の把握と指導に関する研究 —目標のつながりを重視した指導の検討—				
	発達障害・情緒障害	発達障害等のある生徒の実態に応じた高等学校における通級による指導の在り方に関する研究 —導入段階における課題の検討—			社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究 —発達障害等の特性及び発達段階を踏まえての通級による指導の在り方に焦点を当てて—	
	重複障害					
	教材・教具					
地域実践研究	【メインテーマ1】 インクルーシブ教育システム構築に向けた体制整備に関する研究	地域におけるインクルーシブ教育システム構築に関する研究				
			教育相談、就学先決定に関する研究			
		インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究		インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究	
	【メインテーマ2】 インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育に関する実際研究		多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究			
			学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究			
		交流及び共同学習の推進に関する研究		交流及び共同学習の充実に に関する研究		
	教材教具の活用と評価に関する研究					

# 令和2年度の研究活動

(コロナ禍で実施方法を変更するなどして実施)

## ○横断的研究(2課題・平成28～令和2年度)

### ・我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する総合的研究

インクルーシブ教育システムの構築の成果や課題を可視化する評価指標を作成し、その検証を行い、我が国におけるインクルーシブ教育システムの構築に際して残された課題やその後の展望を示すことにより、今後のインクルーシブ教育システムの構築の進展に寄与します。

### ・特別支援教育における教育課程に関する総合的研究

平成28～29年度は、通常の学級と通級による指導の学びの連続性に焦点を当てた研究を行い、平成30～令和2年度は、特別支援学校、特別支援学級、通常の学級の連続した多様な学びの場における教育課程の円滑実施に向けた研究を行い、手引きとしてまとめます。

## ○障害種別研究(4課題・原則2年間)

### ・聴覚障害教育におけるセンター的機能の充実に関する研究－乳幼児を対象とした地域連携－(平成30～令和2年度)

特別支援学校(聴覚障害)における機関連携の状況、早期からの切れ目ない支援体制を構築している地域における聴覚障害の発見から療育開始までの状況や 指導支援の内容・方法について調査することにより、特別支援学校(聴覚障害)が果たす役割を明確にする。

### ・知的障害特別支援学級担当者サポートキットの開発-授業づくりを中心に-(令和元～令和2年度)

知的障害教育におけるカリキュラム・マネジメントの考え方や合理的配慮の提供方法等を専門性の具体的内容として整理するとともに、教育現場において実際的な指導の効果をもたらす、担当者の実践意欲を高めるような専門性向上のためのサポートキットを提案します。

### ・小・中学校における肢体不自由のある児童生徒への指導及び支援のための地域資源を活用した授業改善に関する研究(令和元～令和2年度)

校内外の体制や個別の指導計画の活用状況、自立活動の指導に関する状況等の項目を追加して現状を把握するとともに、研究協力校における実践を通して、自立活動を含めた指導の在り方やセンター的機能活用の取組を紹介し、今後の方向性について提案します。

### ・社会とのつながりを意識した発達障害等への専門性のある支援に関する研究－発達障害等の特性及び発達段階を踏まえての通級による指導の在り方に焦点を当てて－(令和元～令和2年度)

適応上の様々な困難の状況の実態とそのリスク要因について把握した上で、社会とのつながりを意識した時に、①どのような専門性のある支援(通級による指導や合理的配慮を含む)が必要となるか(内容面)、また、②学校において具体的に実践をどう進めるのか(運用面)ということについて、発達段階と発達障害の特性を踏まえて検討します。

より詳しい情報はこちらから(研究紹介ウェブサイト) [http://www.nise.go.jp/nc/study/intro\\_res](http://www.nise.go.jp/nc/study/intro_res)

# 研究成果の還元

研究成果は、事例集やリーフレット等としてウェブサイトに掲載しており、ダウンロードして活用ができます。また、メールマガジンでの発信や研修事業、研究所セミナーでも普及を図っています。



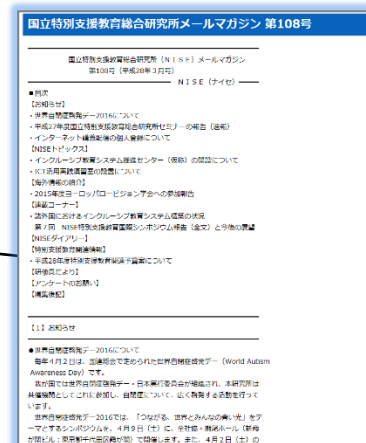
研究成果報告書



事例集



リーフレット



メールマガジン



刊行物(市販)



研修事業(昨年の様子:本年度は代替措置)



研究所セミナー(昨年の様子:本年度はWebで配信)

研究成果についてはこちらから御覧いただけます

[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material/research\\_results\\_publications](https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications)

# 研究成果の普及方策

研究所の研究成果物を、ダウンロードして活用いただくために、各種リーフレットや事例集の紹介とダウンロード方法手順を、わかりやすくまとめたリーフレットを新たに作成し、全国の特別支援教育センターへ送付し、研修会等で先生方へ配布していただいています。（実施中）

**先生の困った!** を**解決**するために

Download

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
National Institute of Special Needs Education

**特総研HPで公開中!** 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた実践事例があります。

**リーフレットもあります**

研究成果をイラスト入りなどで、わかりやすく、ポイントを紹介しています。研修会などで配っていただくなどの活用ができます。

**ガイドブック・事例集もあります**

主に、教育現場に携わる先生方へむけての手引書で、わかりやすく内容がまとめられています。

**リーフレットを見たい時**

まずは、<https://www.nise.go.jp/nc/>へアクセス!

- 1 画面上メニューの「報告書・資料」をクリック
- 2 「リーフレット」をクリック
- 3 リーフレットの紹介ページのなかから目的のPDFファイルをダウンロードしてください。
- 4 ご自宅のPCに保存して授業の参考にしたり、印刷して研修会や保護者会の資料に用いたり、ぜひご活用ください。

**研究成果物リスト**

コララで紹介しているのはほんの一部です。HPで最新の情報をご覧ください。

研究内容	リーフレット	事例集	調査報告書	WEB情報サイト
研究成績報告書「マニエ」（令和元年年度） 令和2年5月 <a href="https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/seminar_materials/r1">https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/seminar_materials/r1</a>	基礎的・基本的な生活の指導・支援の充実のために 令和2年5月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646</a>	特別支援学校（現職教師）における指導を中心に 平成31年3月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4649">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4649</a>	特別支援教育でICTを活用しよう 平成26年11月 <a href="http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf">http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf</a>	[NISEチャンネル] YouTubeにて送付紹介動画、研修活動動画を配信 <a href="http://ytc.nise.go.jp/">http://ytc.nise.go.jp/</a>
基礎的・基本的な生活の指導・支援の充実のために 令和2年5月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646</a>	基礎的・基本的な生活の指導・支援の充実のために 令和2年5月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646</a>	特別支援学校（現職教師）における指導を中心に 平成31年3月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4649">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4649</a>	特別支援教育でICTを活用しよう 平成26年11月 <a href="http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf">http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf</a>	[NISEチャンネル] YouTubeにて送付紹介動画、研修活動動画を配信 <a href="http://ytc.nise.go.jp/">http://ytc.nise.go.jp/</a>
基礎的・基本的な生活の指導・支援の充実のために 令和2年5月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646</a>	基礎的・基本的な生活の指導・支援の充実のために 令和2年5月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646</a>	特別支援学校（現職教師）における指導を中心に 平成31年3月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4649">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4649</a>	特別支援教育でICTを活用しよう 平成26年11月 <a href="http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf">http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf</a>	[NISEチャンネル] YouTubeにて送付紹介動画、研修活動動画を配信 <a href="http://ytc.nise.go.jp/">http://ytc.nise.go.jp/</a>
基礎的・基本的な生活の指導・支援の充実のために 令和2年5月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646</a>	基礎的・基本的な生活の指導・支援の充実のために 令和2年5月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4646</a>	特別支援学校（現職教師）における指導を中心に 平成31年3月 <a href="http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4649">http://www.nise.go.jp/nc/wp/wp/wp/wp/wp/download/1/4649</a>	特別支援教育でICTを活用しよう 平成26年11月 <a href="http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf">http://www.nise.go.jp/cms/resources/content/12589/20161205-143141.pdf</a>	[NISEチャンネル] YouTubeにて送付紹介動画、研修活動動画を配信 <a href="http://ytc.nise.go.jp/">http://ytc.nise.go.jp/</a>

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
NISE National Institute of Special Needs Education  
研究業績集 令和2年6月発行

また、研究所ホームページトップ画面から直接研究成果物のページへアクセスできるように、トップページに以下のような**バナー**や**アイコン**を設置しました。

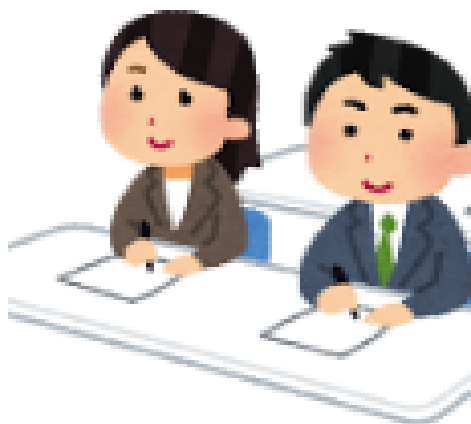
**先生の困った!** を**解決**するために  
研究成果物のダウンロード方法

特総研より	特総研より
リーフレット (研究成果・刊行物)	ガイドブック (研究成果・刊行物)

# 今年度の各種事業はオンライン型

コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、  
対面での実施を予定していた各種事業を  
オンライン型への変更を計画しております。

予定 対面型



コロナ対策 オンライン型



## ②研修事業

### 目的及び研修体系

#### 特別支援教育政策等の推進に寄与する指導者の養成

- 特別支援教育専門研修（約2か月間）  
指導者研究協議会（1～3日間）

#### 幅広い教員の資質向上に関する支援

- インターネットによる講義配信  
免許法認定通信教育



# (1) 指導者の養成

## 特別支援教育専門研修

障害種別に対応した専門性及び指導力の向上を目的とする研修(各コース約2か月)

- ①視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース
- ②発達障害・情緒障害・言語障害教育コース
- ③知的障害教育コース

## インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会等

国の政策的課題の推進や教育現場の喫緊の課題に対応する指導者の養成を目的とする研修(1～3日間)

- ①特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会
- ②高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会
- ③交流及び共同学習推進指導者研究協議会
- ④発達障害教育実践セミナー
- ⑤特別支援学校寄宿舎実践指導者協議会(全国特別支援学校長会との連携研修)
- ⑥特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会(全国特別支援学校長会との連携研修)

\* 難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた全国研修会

昭和46年のNISE創設と同時に研修事業を開始して以来、令和2年3月31日現在、特別支援教育専門研修 受講者数 9,838名 その他の研修の受講者数 12,154名

# 令和2年度の研修事業①



## ○特別支援教育専門研修

＜目的＞インクルーシブ教育システムの充実に向け、障害のある幼児児童生徒の教育を担当する教職員を対象として、多様な学びの場（通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校）における各障害種別の指導者（スクールリーダー）の専門性向上を目的とし、専門的知識及び技術を深め、指導力の一層の向上を図り、今後の各都道府県等における指導者としての資質を高める。

また、特別支援学校教員においては、幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校を含む地域支援の一層の充実を目指し、地域の中核となるようその専門性の向上を図る。

### ①第一期 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース （募集人員：70名）

期 間：令和2年5月11日(月)～令和2年7月10日(金)

### ②第二期 発達障害・情緒障害・言語障害教育コース （募集人員：70名）

期 間：令和2年9月9日(水)～令和2年11月13日(金)

### ③第三期 知的障害教育コース（募集人員：70名）

期 間：令和3年1月6日(水)～令和3年3月12日(金)

コロナウィルス感染拡大防止により  
**専門研修は中止。**

代替措置として、研究所HPIに特設  
ページを開設し、関係情報の提供や  
自主研修の取組を支援。

第二期・第三期については、上記に  
加え、各コースに応じた講義をオンデ  
マンドにより配信。

# 令和2年度の研修事業②

## ○インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会等

### ①特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会（募集人員：70名）

<目的>各都道府県教育委員会・センター等の指導主事及び指導的立場にある幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員を対象に、特別支援教育における教育支援機器等の活用に関する専門的知識を深め、各地域における指導・支援の充実を図る。

<期間> 令和2年7月21日(火)～22日(水)→令和2年9月25日(金)に変更し、オンラインで実施。

### ②高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会（募集人員：100名）

<目的>各都道府県等において、高等学校における通級による指導に関わる指導主事及び担当教員を対象に、研究協議等を通じ、担当者の専門性の向上及び高等学校における通級による指導の理解推進を図る。

<期間> 令和2年9月2日(水)～4日(金)

→令和2年11月6日(金)に変更し、オンラインで実施。

コロナウィルス感染拡大防止により、  
日程及び実施方法を変えて実施。

### ③交流及び共同学習推進指導者研究協議会（募集人員：70名）

<目的>各都道府県教育委員会・センター等の指導主事及び指導的立場にある幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員を対象に、研究協議等を通じ、各地域における交流及び共同学習と障害の理解推進を図る。

<期間> 令和2年11月19日(木)～20日(金)

→令和2年11月20日(金)に変更し、オンラインで実施。

### ④発達障害教育実践セミナー（募集人員：70名）

<目的>各都道府県教育委員会及び教育センター等の研修担当の指導主事等を対象にし、発達障害に関する専門的知識を深め、研究協議等を通して、各地域における発達障害教育の実践的な指導力の向上を図る。

<期間> 令和2年12月3日(木)～4日(金)→令和3年1月28日(木)に変更し、オンラインで実施。

# 令和2年度の研修事業③

## ○全国特別支援学校長会との連携研修

### ⑤特別支援学校寄宿舎指導実践協議会（募集人員：60名）

<目的> 各都道府県等において指導的な立場にある寄宿舎指導員を対象に、実践発表、情報交換等を行い、寄宿舎における指導の充実を図る。

<期間> 令和2年7月17日(金)→令和2年12月25日(金)に変更し、オンラインで実施。

### ⑥特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会（募集人員：50名）

<目的> 特別支援学校の体育・スポーツ活動に関して指導的立場に立つ教員等を対象に、実践交流・情報交換を通じて、体育・スポーツ指導の専門性の向上及び特別支援学校を拠点とした体育・スポーツ活動の充実を図る。

<期間> 令和2年11月26日(木)～27日(金)→令和2年11月27日(金)に変更し、オンラインで実施。



特別支援学校寄宿舎指導実践協議会



特別支援学校「体育・スポーツ」実践指導者協議会

# (2) 幅広い教員の資質向上に関する支援

## インターネットによる講義配信 NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～

障害のある児童生徒等の教育に携わる教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するため、インターネットによる講義配信「NISE学びラボ」特別支援教育eラーニングを行っています。

**団体登録により研修プログラムが設定できます！**

教育委員会等の機関が主催する研修等で、受講者のニーズに合わせて複数の講義コンテンツを組み合わせた研修プログラムが設定できます。修了者には視聴証明書を発行します。

### 講義コンテンツ分類

- ① 特別支援教育全般
- ② 障害種別の専門性
- ③ 通常の学級における学びの困難さに応じた指導

The screenshot shows the NISE Learning Lab interface. At the top, it says "NISE 学びラボ". Below that, the title of the lecture is "発達障害のある子供の通常の学級における支援". The presenter is identified as "国立特別支援教育総合研究所 ○○ ○○". A video player shows a female instructor with a pointer. Below the video, there is a text box with a message: "皆さんこんにちは。国立特別支援教育総合研究所の○○○○です。これから「○○○○」についてお話しします。本日の講義の内容です。まず、○○について説明します。次に○○について、事例をとおして理解を深めます。最後に○○の観点から整理します。"

At the bottom, there is a navigation bar with five icons representing different slides or sections, numbered 1 to 5. Each icon consists of a grid of colored dots (black, blue, red, green).

動画と連動して講義内容のスライドが示される。

講師の映像が動画で示される。

講師が話す内容がテキストとして示される。

前後のスライドがスクロールする。

スマートフォンやタブレット端末にも対応

スライド及びテキストの内容はPDF形式でダウンロードできる。

映像講義のイメージ

No	研修プログラム
1	インクルーシブ教育システムについて学ぶ
2	特別支援教育コーディネーターになったら
3	特別支援学級(知的障害)の担任になったら
4	特別支援学級(自閉症・情緒障害)の担任になったら
5	特別支援学校の教員になったら
6	通級による指導の担当者になったら
7	小学校・中学校等の管理職になったら
8	高等学校段階における特別支援教育
9	幼児期における特別支援教育
10	全ての教職員を対象に: 本人・保護者に寄り添った指導・支援のために

# インターネットによる講義配信 NISE 学びラボ の視聴方法

## 1. ログイン画面

URL : [http://www.nise.go.jp/nc/training\\_seminar/online](http://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online)

付与されたIDとパスワードでログインします。  
初めての方は、画面右「利用申請」から利用申請を行ってください。



## 2. コンテンツの選択

コンテンツ一覧から視聴したい講義のコンテンツを選択します。

団体申込みも可能になりました！  
詳細は [a-manabilabo@nise.go.jp](mailto:a-manabilabo@nise.go.jp) まで



ログイン後のホーム画面です。  
「コンテンツ一覧」のボタンを押します。

130以上の講義コンテンツが、「分類」→「コース」→「コンテンツ」という階層で整理されています。それぞれの階層リストから興味のある内容を選び、視聴したいコンテンツを選択します。

# 免許法認定通信教育

平成28年10月開講

無料

NISEが実施する免許法認定通信教育

講義・教材配信システム

インターネットを利用した

- ・受講申込の受付
- ・放送講義・教材の配信
- ・受講状況確認

受講者のいる都道府県を中心に、全国の複数会場で単位認定試験を実施



パソコン・スマートフォン・タブレット端末等で講義を視聴



免許法認定通信教育総合情報サイト  
<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>

視覚障害領域  
聴覚障害領域  
第2欄の科目

特別支援学校  
教諭免許状を  
保有していない  
特別支援学校  
教員等

令和2年度の開講スケジュール

前期 令和2年5月～令和2年8月

視覚障害教育 心理、生理及び病理

聴覚障害教育 心理、生理及び病理

※単位認定試験：令和2年8月29日(土)全国複数会場

後期 令和2年9月～令和2年12月

視覚障害教育 教育課程及び指導法

聴覚障害教育 教育課程及び指導法

※単位認定試験：令和2年12月26日(土)全国複数会場

申込み方法はホームページをご覧ください。

<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>

受講対象者

特別支援学校や特別支援学級に勤務し、特別支援学校教諭免許状を保有していない教員を優先します。

必要な単位を全て修得

大学・教育委員会等が実施する免許法認定講習等

その他修得すべき科目

特別支援学校教諭免許状を取得

特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状保有率向上に寄与

# 難聴児の切れ目ない支援体制構築事業 【令和2年度新規事業】

## 背景・目的

難聴の早期発見・早期教育(療育)開始が、その後の子どもの発達に大きな影響を及ぼすことを踏まえ、特別支援学校(聴覚障害)(以下、「聾学校」)に設置された乳幼児教育相談が、各地域において効果的に機能するよう、保健・医療・福祉及び教育の連携促進や、乳幼児教育相談担当者の専門性向上を目的とした**全国研修会**を開催することにより、我が国における難聴児の乳幼児期から学齢期までの切れ目ない支援体制を構築する。

## 取組内容

全国の聾学校の乳幼児教育相談担当教員、管理職のみならず、**保健・医療・福祉関係者等にも参加を呼びかけ**。

10月19日現在:500名を越える参加申し込み(締め切り 10月30日)

※参加申し込み者:教育委員会課長、指導主事・聾学校長、副校長、部主事、乳幼児教育相談担当教員・大学教員・保健福祉部局・耳鼻科医・言語聴覚士・保健師・看護師・助産師等

**共催：文部科学省「難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた全国研修会」の開催**

11月13日(金)～12月10日(木) ホームページからの講義動画視聴

12月11日(金) 双方向会議システムを使用した講義動画視聴

主な内容 (1) 行政説明、(2) 基調講演、(3) 調査報告、(4) 講義、  
(5) 実践報告、(6) 交流の広場



## 研修パッケージの作成

全国研修会の講義内容、研究所の研究成果を踏まえ、乳幼児教育相談が効果的に機能するための**研修パッケージ(研修テキスト・資料集)**を作成する。内容:①乳幼児教育相談担当者の役割 ②管理職の役割③関係機関との連携 ④地域における支援体制の構築等

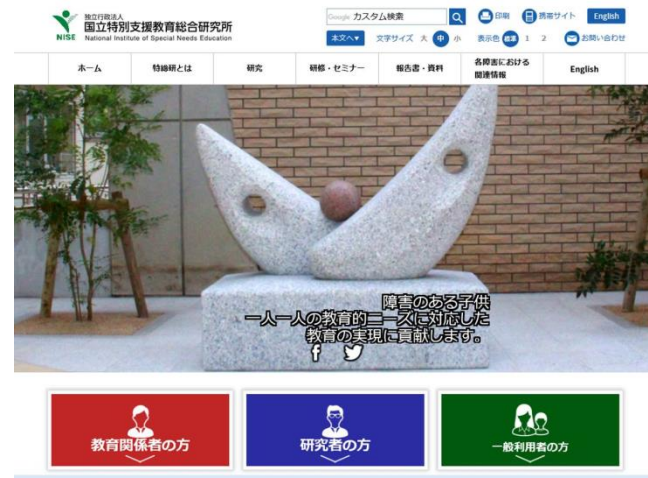
## 成果、事業を実施して期待される効果

- ・研修会を実施していくことで、各聾学校における乳幼児教育相談の機能充実が図られる。
- ・研修パッケージを整理することにより、担当者の専門性向上や地域のネットワーク形成が促進される。

## ③ 情報収集・発信、理解啓発活動

### ○ホーム・ページの改訂

- ✓研究成果等のコンテンツを領域別に整理
- ✓「研究者の方」「教育関係者の方」など利用者別にページを設定
- ✓スマートフォンに対応



### ○支援教材ポータルサイトの充実～実践事例の拡充～

(教材例)



モニター一体型視線入力システム



ワイヤレスマイク



# 今後のイベント紹介

※中止又は開催形態が変更となる可能性があります。

## 研究所公開

日 程 令和2年12月24日(木)～  
令和3年1月11日(月)  
実施方法 オンライン配信



## インクルーシブ 教育システム 普及セミナー

日 程 令和2年11月28日(土)  
実施方法 オンライン配信



## 国立特別支援教 育総合研究所セ ミナー

日 程 令和3年2月27日(土)  
実施方法 オンラインによるライブ配信  
各研究班の研究発表の動画配信



## 教材等地域展示 会

令和2年度開催地  
・山梨県:令和2年8月19日(水)【実施済】  
・宮崎県:令和2年12月18日(金)～19日(土)  
実施方法 オンライン配信



# 発達障害教育推進センター

## ウェブサイトによる情報提供



## ウェブサイトのコンテンツ

- 指導方法や支援
- 研修講義（教師向け）
- 教材教具や支援機器
- 発達障害に関する研究
- 国の施策・法令等
- 教育相談に関する情報
- イベントや研修会の情報

## 研修講義のYouTube化

### NISEchannel

国立特別支援教育総合研究所

#### アップロード動画

 <p>理解と支援「発達障害のある児童生徒のための教材・支援機器の活用」 視聴回数 110 回・1 週間前</p>	 <p>理解と支援「幼児期の発達障害」 (平成24年収録) 視聴回数 132 回・1 週間前</p>	 <p>理解と支援「書くことが苦手な子」 (平成20年収録) 視聴回数 58 回・1 週間前</p>	 <p>概論「ちょっと気になるが出発点」 (平成20年収録) 視聴回数 62 回・1 週間前</p>
---	---	---	---

## 発達障害教育推進センター展示室の公開

発達障害に関する理解の促進、適切な対応や支援の充実を目的として、パネル展示や参考図書・映画等の紹介、ウェブサイトに掲載している教材・教具等の展示を行っています。心理的疑似体験ができるコーナーもあります。



## 発達障害教育実践セミナー

教育委員会及び教育センター等の研修担当指導主事等を対象として、発達障害教育に関する専門的知識を深め、研究協議等を通して、各地域における発達障害教育の実践的な指導力の向上を図るセミナー等を行い、発達障害教育への理解推進と実践的な指導力の向上を図っています。

日程：令和3年1月28日（木）オンライン配信

## 特別支援教育担当教員の資質向上に向けた人材育成プロジェクト【令和2年度新規事業】

### 背景・説明

発達障害を含む障害のある児童生徒に対する支援は、全ての学校・学級に求められており、特別支援教育に係る教員の専門性の向上が課題となっている。

また、障害のある児童生徒への支援にあっては、行政分野を超えた連携が不可欠である。(※H30.3「家庭と教育と福祉の連携「トライアングル」プロジェクト」報告)

### 目的・目標

- 令和元年度に作成した「発達障害に係る教員等の専門性向上の研修コアカリキュラム(案)」を活用した、地方自治体における教員研修を検討・実践する。
- 本事業の成果を踏まえ、体系的な研修のモデルプランを提案する。
- 特別支援教育に係る教員の専門性向上に向けた検討を行う。

### 取組内容

#### 国立特別支援教育総合研究所

- 教育と福祉が連携・協働した支援人材育成の体系的な研修モデル案の検討

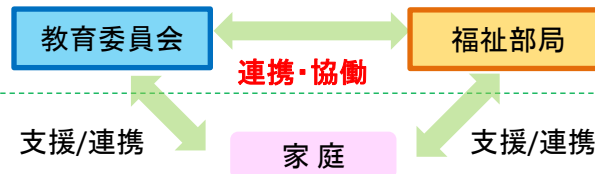


- 教育と福祉の関係者が協働する研修実践の在り方の検討
- 地方自治体における研修の支援
- 都道府県等の指導主事等を対象とした普及セミナー(発達障害教育実践セミナー)の実施

協力・支援

#### 地方自治体(協力地域6箇所)

- 発達障害に係る教育と福祉が連携・協働するための研修コアカリキュラム(案)を活用した教員研修の検討・実践



- 成果報告のまとめ

- 教育と福祉が連携・協働した体系的な研修モデルプランの提案

#### 有識者会議による検討

- 特別支援教育に係る教員の専門性向上に向けた検討

成果、事業を実施して、期待される効果

教育と福祉が連携・協働した体系的な研修が実施されることにより、教員及び福祉支援の職員の専門性が向上し、児童生徒に対する支援の充実につながる。

# メールマガジンのご案内

研究所の旬の話題を毎月お届けします。

## 【 主な内容 】

- ・ NISEからのお知らせ
- ・ NISEに関するトピックス記事
- ・ 海外情報の紹介
- ・ 研究成果の紹介
- ・ 文部科学省等からの特別支援教育関連情報
- ・ NISE主催イベント等の報告
- ・ NISEダイアリー（理事長の身近な話題）
- ・ 研修員だより



下記のURLやQRコードより登録が可能です。

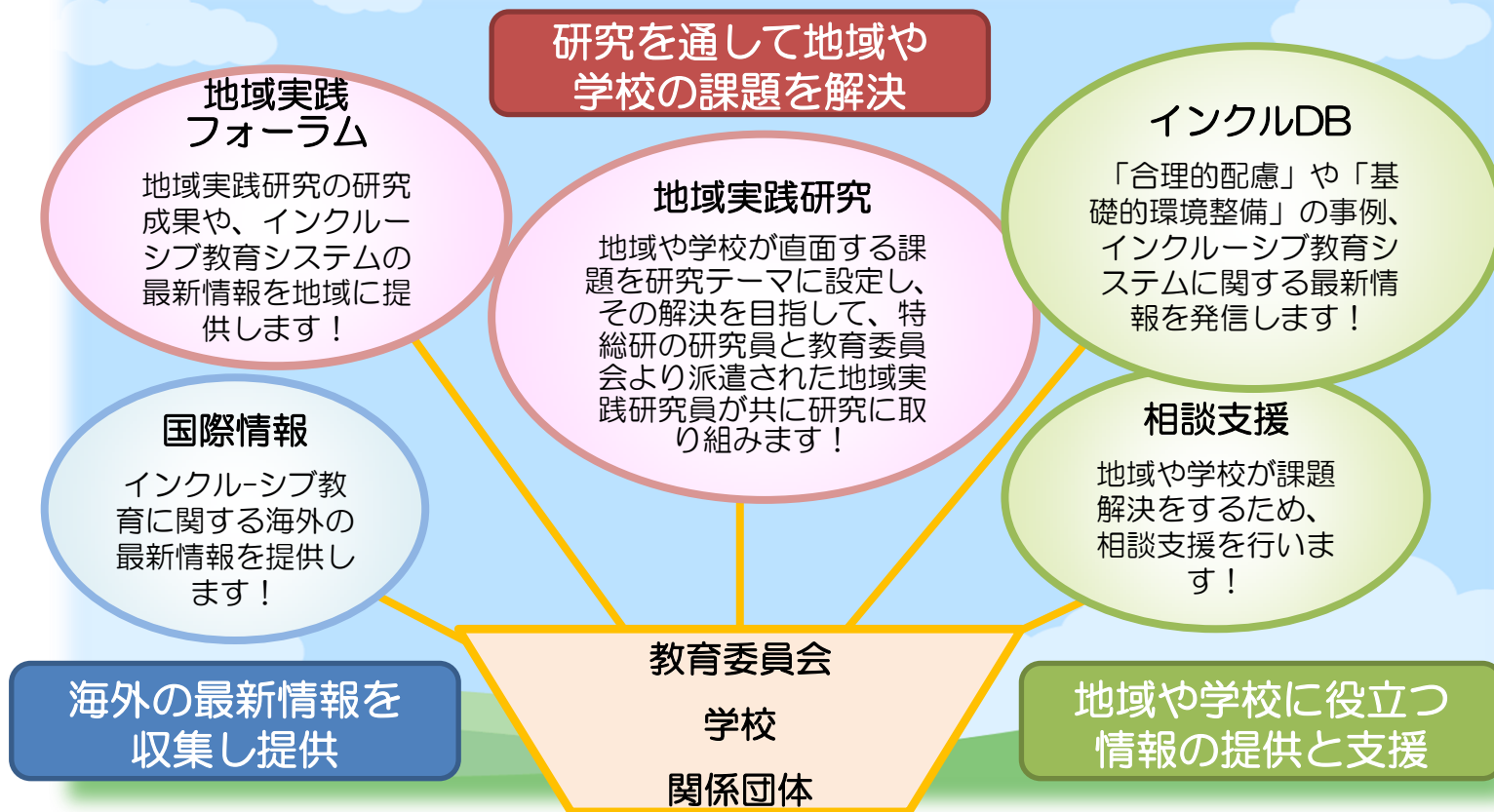
[http://nc.nise.go.jp/about\\_nise/mail\\_mag](http://nc.nise.go.jp/about_nise/mail_mag)



## ④インクルーシブ教育システム構築への寄与

～「インクルーシブ教育システム推進センター」の設置（平成28年4月）～

インクルーシブ教育システムの構築を一層推進するため、**地域や学校**の取組を強力に**バックアップ**していきます。



インクルーシブ教育システム推進センターの詳細は、こちらのウェブサイトからご覧いただけます。

[http://www.nise.go.jp/nc/about\\_nise/inclusive\\_center](http://www.nise.go.jp/nc/about_nise/inclusive_center)

### インクルーシブ教育システム普及セミナー

期 日： 令和2年11月28日（土）13:00～16:00 オンライン配信

テーマ： 国内外の取組から今後を展望する

内 容： 地域や学校の取組、国際動向、講演「インクルーシブ教育システム構築の現状と今後への期待」

# 地域実践研究事業

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、地域や学校が抱える課題を研究テーマとして設定し、研究所と地域が協働して行う新しいタイプの研究として、平成28年度より「地域実践研究事業」を実施

## 都道府県・指定都市・市町村

- 地域実践研究事業を特総研に申請（サブテーマから研究課題を選択、研究計画書を作成）

- 地域実践研究員を特総研に派遣  
長期派遣型（1年間の派遣）

### 短期派遣型（平成29年度より）

※ 短期派遣型地域実践研究員は日常的に連携をとりながら、年3回各2日間（計6日間）の研究推進プログラムに参加。

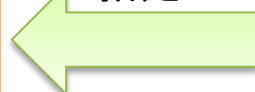
※ 平成30年度より、市町村からの申請も可能。

- 研究進捗状況の把握や、研究成果普及への協力

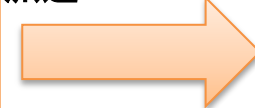
申請



指定



地域実践研究員派遣



## 国立特別支援教育総合研究所 インクルーシブ教育システム推進センター

- 地域や学校がインクルーシブ教育システムの構築に向けて直面する課題から、メインテーマ2課題、その下にサブテーマを設定

- 申請のあった都道府県・指定都市・市町村から毎年、概ね10地域を指定

- サブテーマ毎に、特総研の研究員、地域実践研究員が研究グループを組織し、研究を推進

## 地域実践研究員

- 地域実践研究への参画
- 研究実践校及び地域との連絡調整
- 先進地域の情報収集
- 地域への研究成果の還元

# 地域実践研究 研究課題

## ◎インクルーシブ教育システム構築に向けて、地域が直面する課題の解決に関する研究の推進

メインテーマ1：インクルーシブ教育システムの構築に向けた体制整備に関する研究

メインテーマ2：インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育に関する実際的研究

		研究テーマ
H 2 8 ・ 2 9	M1	地域におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する研究
		インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究
	M2	交流及び共同学習の推進に関する研究
		教材教具の活用と評価に関する研究
H 3 0 ・ R 0 1	M1	教育相談、就学先決定に関する研究
		インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究
	M2	多様な教育的ニーズに対応できる学校づくりに関する研究
		学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究
R 0 2	M1	インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究
	M2	交流及び共同学習の充実に関する研究

## 令和2年度の地域実践研究

# 地域実践研究

地域や学校が直面する課題を研究テーマとして設定し、その解決を目指して、特総研の研究者、教育委員会より派遣された地域実践研究員が共に研究に取り組んでいます。

### 令和2年度の研究課題（令和2年度は11県・市が参画）

- ・インクルーシブ教育システムの理解啓発の推進に関する研究

令和2年度指定地域：青森県、埼玉県、静岡県

札幌市、釜石市、鹿沼市、相模原市、田原市、神戸市、鳥取市

- ・交流及び共同学習の充実にに関する研究

令和2年度指定地域：静岡県、横須賀市

◆活動状況については、研究所ウェブサイト、メールマガジン等により随時発信しています。  
平成28年度～令和元年度までの研究成果は、地域実践研究事業報告書（以下のウェブサイトに掲載）をご覧ください。

インクルーシブ教育システム推進センターウェブサイト

[http://nc.nise.go.jp/about\\_nise/inclusive\\_center](http://nc.nise.go.jp/about_nise/inclusive_center)



# 諸外国の最新情報の収集と発信

- ・ 海外のインクルーシブ教育システムに関する情報を収集し、国際シンポジウム、小冊子、ジャーナル等で広く発信しています。
- ・ 海外の研究機関等との交流、研究職員の海外派遣、海外の教育行政担当者や学校教員等の視察・研修の受け入れ等を通じて国際交流を推進しています。



NISE特別支援教育国際シンポジウムの様子

## ○NISE特別支援教育国際シンポジウム

## ○小冊子や国立特別支援教育総合研究所ジャーナルでの発信

収集した海外の情報を、小冊子や特総研ジャーナルで、「各国におけるインクルーシブ教育システムの動向」を紹介しています(ウェブサイトから御覧いただけます。)

国立特別支援教育総合研究所ジャーナル第9号(令和2年3月発行)

[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material/research\\_results\\_publications/kiyou\\_jarnal\\_bulletin/#!#jor](https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/kiyou_jarnal_bulletin/#!#jor)



## ○海外の研究機関との研究交流の推進

### 【研究交流協定締結機関】

韓国国立特殊教育院(平成7年11月締結,令和元年7月再締結)

ケルン大学人間科学部(平成10年11月締結)

フランス国立特別支援教育高等研究所(平成27年3月締結)

# インクルーシブ教育システム構築支援データベース(インクルDB)

インクルDB(インクルーシブ教育システム構築支援データベース)は、子どもの実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を紹介しています。また、研修会での事例検討にも活用できます。インクルDBは、各学校の先生方だけでなく、保護者の方をはじめ、広く一般の方にもご利用いただくことができます。

平成30年9月下旬より、実践事例の取組を分かりやすくまとめた概要版(実践事例データベースⅡ)、令和2年3月からインクルDBを活用した研修例、交流及び共同学習の事例及びや関連情報を掲載しています。

第4期中期目標期間(平成28~令和2年度)の5年間で500件以上の事例を掲載予定、令和2年10月現在 事例掲載数:472件

◆特別支援学校における遠隔授業や新型コロナウイルス感染症対策の取組例等も掲載しています。

Aさんは字を書くのが苦手で困っているみたい。なんとかしてあげたいわ。



①

そうだ!このあいだの研修会で「インクルDB」のお話があったわ。早速調べてみよう。



②

字を書くことに関するたくさんの事例があるわ。なるほど、こんな合理的配慮もあるのね。



③

保護者の方と支援の内容や方法について合意形成します




OK!

④

Aさんは、字が書きやすくなったみたい。よかったわ。



⑤

インクルDBウェブサイト<https://inclusive.nise.go.jp/> または  

# 教員の資質向上に関する支援の紹介

---

- ① 特別支援学校教諭免許状取得のための免許状認定通信教育
- ② インターネットによる講義配信  
NISE学びラボ



# お知らせ

国立特別支援教育総合研究所に  
関する情報は、

<https://www.nise.go.jp/nc/>にアクセス

または、



で検索！

